

伊藤大使によるドクトル・ルイス・カルボ・マケナ病院訪問

9月5日、伊藤大使は、サンティアゴ首都圏州のプロビデンス区内に所在するドクトル・ルイス・カルボ・マケナ病院を訪問しました。

同病院は、癌治療をはじめとする様々な専門的診療を行っている国立小児病院であり、トロイ・センターと呼ばれる治療センターを有しています。このトロイ・センターには、広島で被爆した少女・佐々木禎子さんが白血病からの回復を願い千羽鶴を折ったという話になぞらえて、病気の回復を祈るシンボルである色とりどりの折り鶴が建物の中に飾られています。

今回の訪問では、ロイヤー病院長らとの意見交換のほか、トロイ・センターや病院内施設の視察を行い、日々、多くの子供達の治療に向き合っている同病院の取組に対する理解を深めることができました。伊藤大使から同病院に対し、折り紙と、日本文化を紹介する雑誌「にぽにか」（スペイン語版）を寄贈しました。

これからも多くの折り鶴が病気と闘うチリの子供達に希望を与え続け、子供達が一刻も早く回復することを祈っています。

